

分担金・拠出金の名称	特定通常兵器使用禁止・制限条約締約国会議（CCW）拠出金		評価	C
拠出先の国際機関名	国際連合欧州本部			
国際機関の概要	特定通常兵器使用禁止・制限条約議定書Ⅴは、爆発性残存物（ERW）の危険及び影響からの文民及び民用物の保護のための予防措置、現存するERWについての援助、一般的予防措置等について規定されている。締約国会合では、その議定書の履行及び運用等について議論される。我が国は、本議定書について、締約国としてではなく、オブザーバーとして締約国会議に参加しているため、同議定書第10条3項に基づき、その際の会議費を負担する必要がある。			
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標			達成状況	
1.（1）成果目標：我が国重要外交課題である軍縮・不拡散の促進。 活動指標：我が国の本議定書の締結についての検討			我が国は、本議定書のオブザーバーであり、我が国としては、本議定書を締結した場合に、我が国どのような影響を与えるかについて、本議定書を巡る国際社会の動向を見極めつつ、議定書全体につき慎重に検討を行っているところである。このため、我が国は、毎年開催される本議定書の締約国会合にオブザーバーとして参加し、各締約国の本議定書の義務の履行状況等につき聴取したところ、締結につき、判断を行う上で有用な情報収集が出来た。	
（2）成果目標：履行支援ユニット（ISU）支援の下、締約国会合における条約の履行の確保についての議論及び意思決定等において我が国の影響力の確保 活動指標：オブザーバーである我が国のプレゼンスを確保するために、ISU長に対して様々な意見や提起が出来るような機会を設け、我が国の意向を反映させること			本議定書のオブザーバーである我が国は、締約国会合における意思決定には参加出来ないものの、締約国会合に出席の上、我が国の立場と異なる議論が行われていないか、議論の流れ及び関係国の意見を把握することが非常に重要である。拠出金を支払わなければ、本件会議にオブザーバーとして参加することも認められていない。また、締約国会議の機会の他、軍縮代表部においても、常時、ISU長と緊密に連絡を取り、本議定書の議論及び議長問題等今後の体制等について我が国に重要な情報が入るように努め、様々な機会を通じて、今後の議論の方向性等につき意見交換を行っている。	
（3）成果目標：ISUが予算の適切なマネジメントを行う 活動指標：ISU及び国連欧州本部の適切なマネジメントの向上			予算の適切なマネジメント及び透明性を高めるために、英及びそのほかの関心国と共同で会議費の見積もりの信頼性の向上のために説明を求めたり、国連財政部に対して国ごとの繰越金の提示の要求を韓国と我が国で共同して行ったところ、国連欧州本部より、同本部が行っている諸雑費の内訳の明確化、見積もりの信頼性の向上、プログラム管理経費の妥当性、会議費徴収要領の改善案に関する措置等につき説明があり、また、マネジメントの向上を継続して行っていくことが確認された。	
（4）成果目標：途上国の条約実施のための支援を目的とした国際協力が活発に行われること。 活動指標：国際協力案件の実施			締約国会合で報告があり、ERW除去のための国際協力及び支援について議論が行われ、その必要性が確認された。また、締約国間で、医療機材の供与及びERW除去用の機材の供与等が活発に行われ、途上国の条約実施に役立っている。また、途上国から、具体的に何が必要か要望が示され、今後の協力において、必要な支援が明確になり、締約国会合で国際協力の活発化が促進された。	
2. PDCAサイクルの確保			①Plan:締約国会議で次年度分予算案を議論、承認。②Do:我が国の拠出金支払。ISU（履行支援ユニット）による予算案執行。③Check:締約国会合において、報告書による運営活動の成果を評価。④Act:締約国会合にて、運営における要改善事項を提言。	
担当課・室名	軍縮不拡散科学部通常兵器室			